

## <参考資料>

### ■ 調査概要

実施組織：日本生活協同組合連合会 政策企画室／公益財団法人 生協総合研究所

実施期間：2019年9月2日(月)～9月12日(木)

調査方法：Web 調査

調査対象：日本生協連「家計・くらしの調査」モニター（全国約1,700人）にEメールを配信し、ご協力をお願いしました。

総回答数：940件

年齢	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
人数	10	155	286	272	155	62

性別	女性	男性	その他	答えたくない
人数	902	28	3	7

就業形態	フルタイム	パート・アルバイト	自営業・農林漁業	専業主婦(夫)	年金生活者	その他
人数	177	338	19	302	79	25

家族構成	単独	夫婦のみ	夫婦と未婚の子	ひとり親と未婚の子	3世代	その他
人数	40	228	571	37	42	22

世帯年収	200万円未満	200万円以上 400万円未満	400万円以上 600万円未満	600万円以上 800万円未満	800万円以上 1,000万円未満	1,000万円以上	無回答
人数	82	176	242	166	117	79	78

北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県
65	9	7	43	2	4	6	18
栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県
1	9	1	13	15	158	6	11
石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県
10	0	6	21	11	42	36	29
滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県
7	35	107	97	3	3	9	8
岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県
6	8	11	10	1	14	10	37
佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
9	22	2	2	0	15	1	940

### ※ 集計方法

複数選択肢から選んで回答してもらう設問（消費税増税対策、キャッシュレス決済手段、消費税の用途）で、「特に消費税増税対策は行っていない（行う予定はない）」「キャッシュレス決済を利用していない（利用する予定はない）」「特に期待する消費税の用途はない」と他の選択肢が重複して選択されていた場合は、他の選択肢の方を集計し、これら「…ない」は集計対象から除きました。

## ■ 調査結果

キャッシュレス決済は高年収・若い世帯ほど関心が高い結果に。30代子育て世帯の44.6%が「二次元コード」決済を「利用している（したい）」と回答

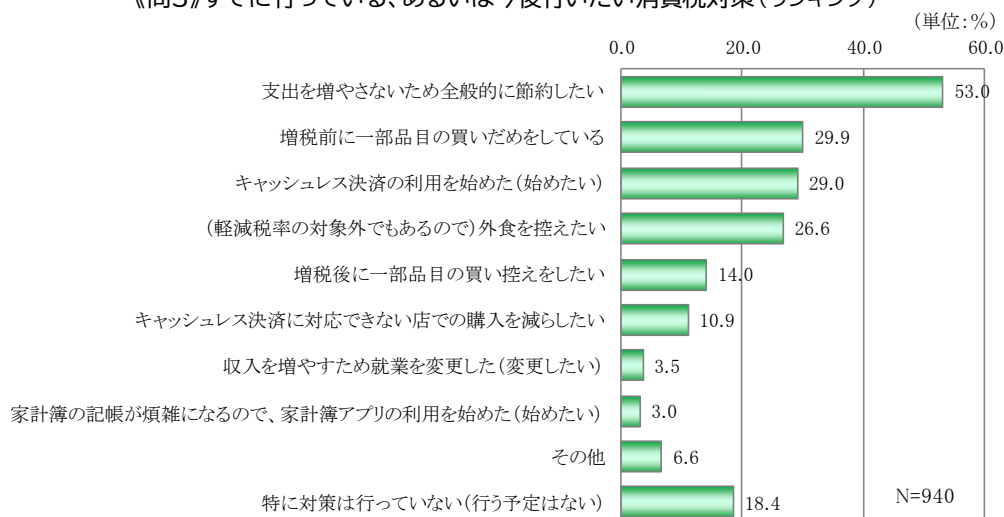
～ 消費税の使途に「年金制度」を望む声が多。  
30代子育て世帯の8割が「子育て支援」を期待～

### 1. 消費税増税対策

「全般的な節約」が53.0%と最多。  
次いで「買いため」「キャッシュレス決済の利用」「外食を控える」が続く

「支出を増やさないため全般的に節約したい」が最多、次いで「増税前に一部品目の買いためをしている」「キャッシュレス決済の利用を始めた（始めたい）」「（軽減税率の対象外でもあるので）外食を控えたい」の順に多い結果になりました。

《問3》すでに行っている、あるいは今後行いたい消費税対策（ランキング）



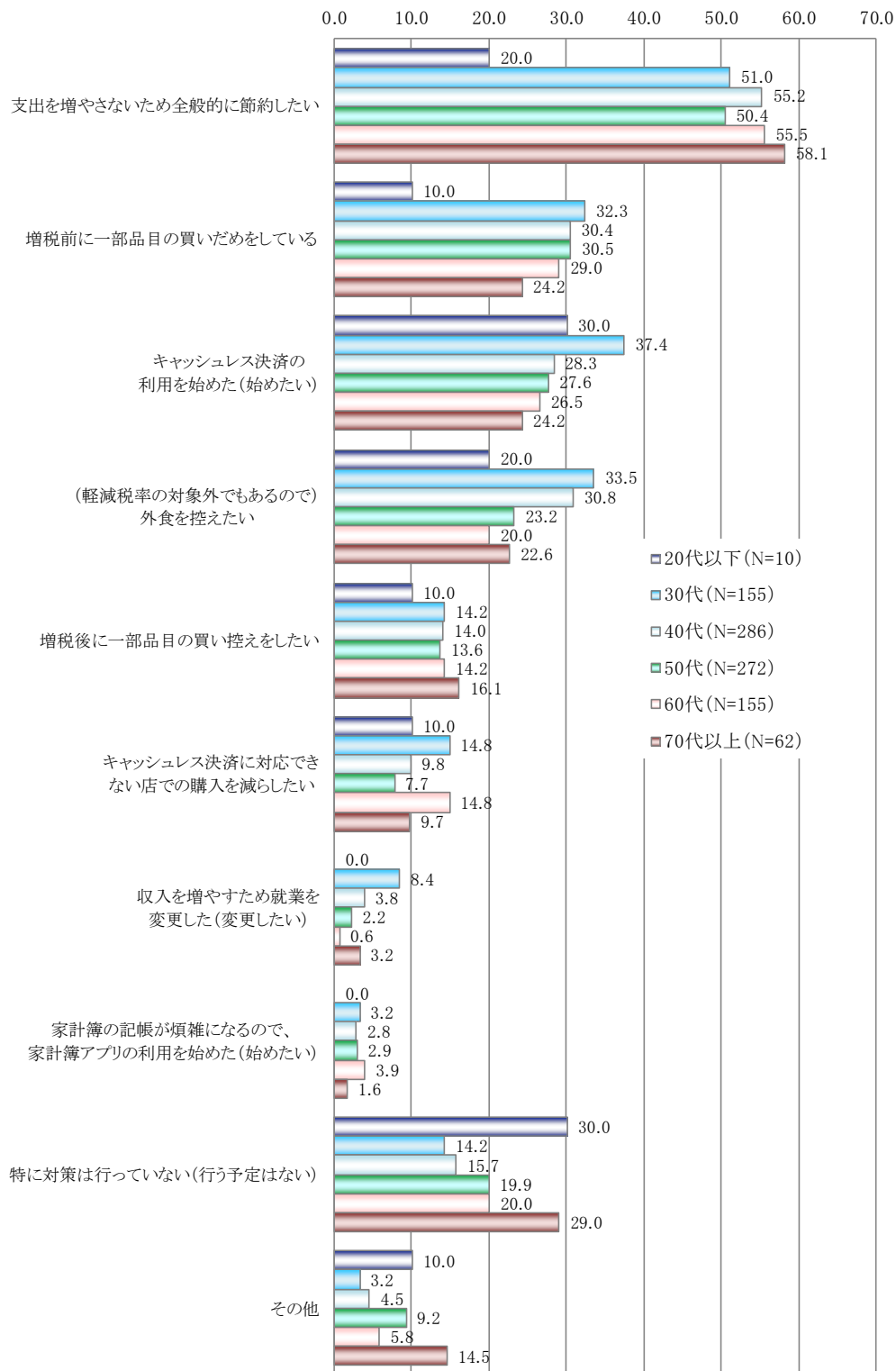
年代別にみると次頁のグラフに示す通り、「増税前に一部品目の買いためをしている」は70代の割合は少なく、「（軽減税率の対象外でもあるので）外食を控えたい」は30代の割合が最も多くなっています。「キャッシュレス決済の利用を始めた（始めたい）」は30代の割合が最も高く、以降、年代が上がるにつれて割合は低くなっていきます。逆に、「特に消費税増税対策は行っていない（行う予定はない）」は30代が最も少なく、以降、年代が上がるにつれて割合は多くなっていきます。

「買いためをしている品目」名について入力をお願いしたところ、洗剤・トイレトペーパー・ティッシュペーパー・シャンプー・オムツなどの日用消耗品、化粧品、酒類といった回答が多く見られたほか、「特にない」旨の回答も目立ちました。

「買い控えを予定している品目」名については、家電、外食、衣類、嗜好品、ティッシュペーパー・トイレトペーパー・洗剤といった回答が多く見られたほか、「特にない」旨の回答も目立ちました。

《問3》すでに行っている、あるいは今後行いたい消費税対策（年代別）

(単位:%)

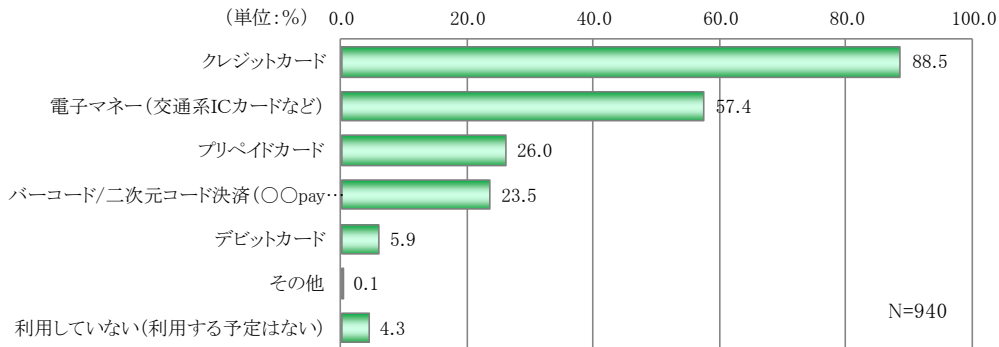


## 2. キャッシュレス決済手段の利用状況

スマホ「二次元コード」決済は、高年収世帯や若い世代ほど関心が高い結果に

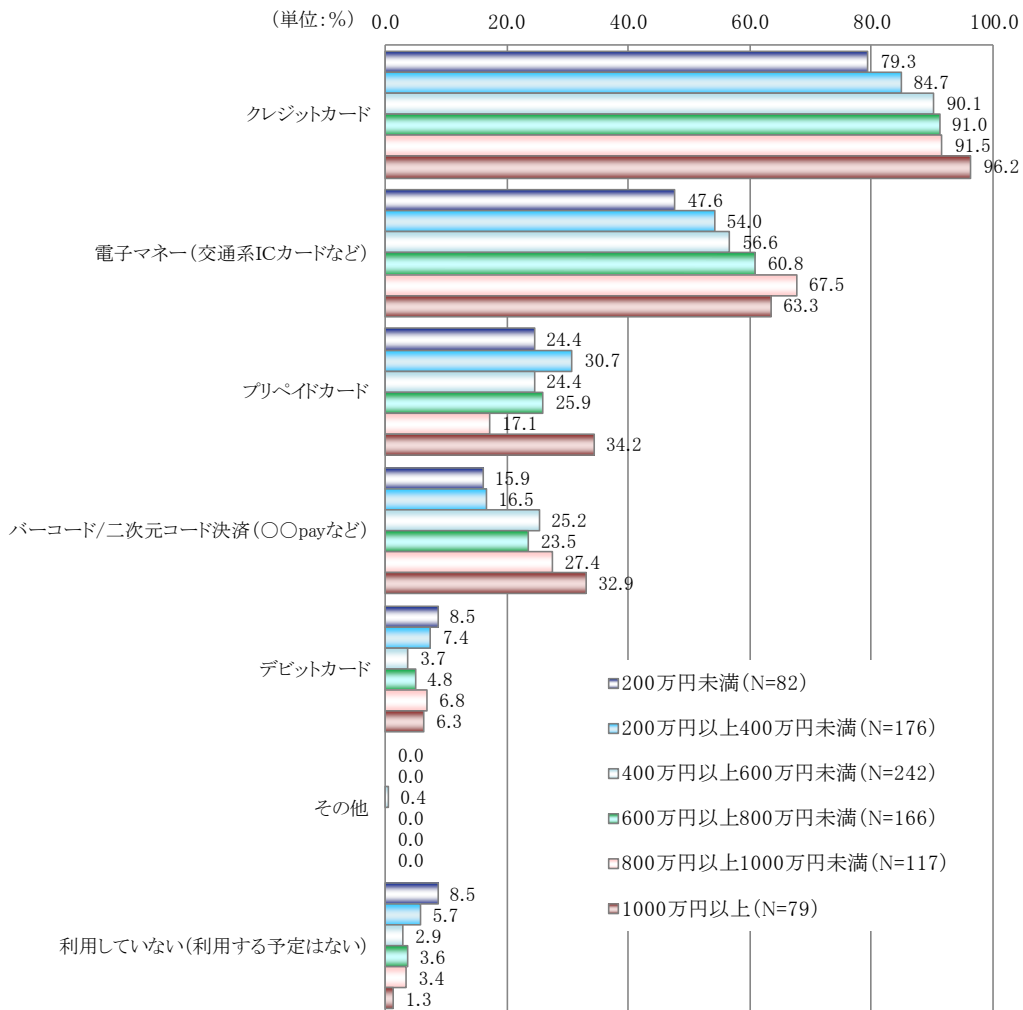
「クレジットカード」が最多、次いで「電子マネー（交通系ICカードなど）」「プリペイドカード」「二次元コード（〇〇pay など）」の順に多い結果になりました。

《問4》キャッシュレス決済手段として利用している、あるいは今後利用したいもの(ランキング)



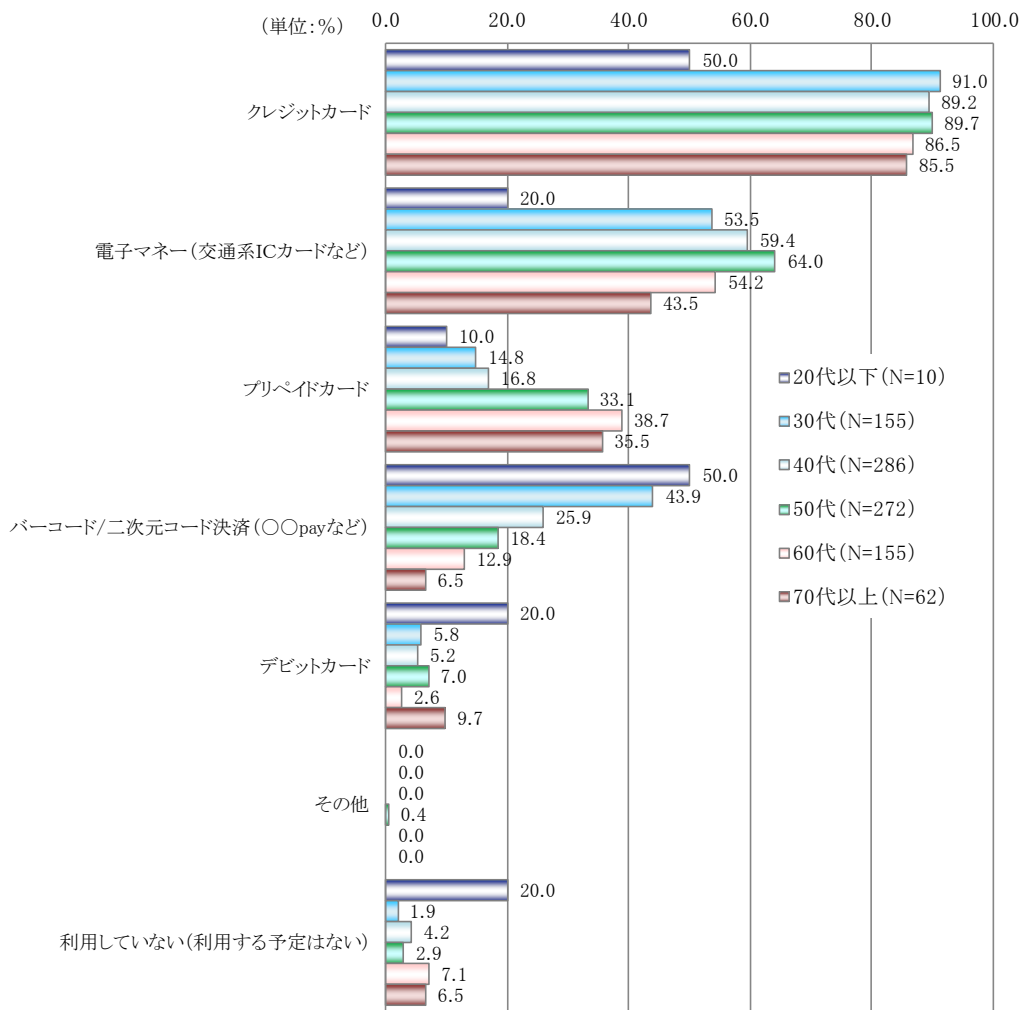
年収別にみると、総じて 800 万円以上の利用割合が多く、400 万円未満の利用割合が少なくなっています。

《問4》キャッシュレス決済手段として利用している、あるいは今後利用したいもの(年収別)



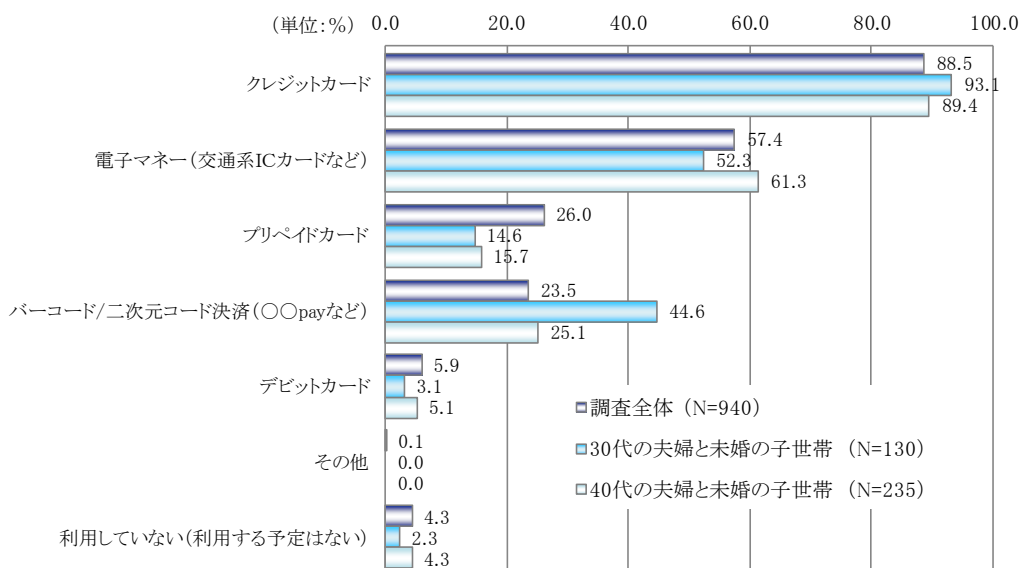
年代別では、「二次元コード」は若い世代ほど関心が高くなっています。

《問4》キャッシュレス決済手段として利用している、あるいは今後利用したいもの(年代別)



全体で構成比率の高い30・40代の「夫婦と未婚の子」世帯に特化して集計したところ、30代の「夫婦と未婚の子」世帯では44.6%が「二次元コード」を利用している（今後利用したい）と回答しています。

《問4》キャッシュレス決済手段として利用している、あるいは今後利用したいもの

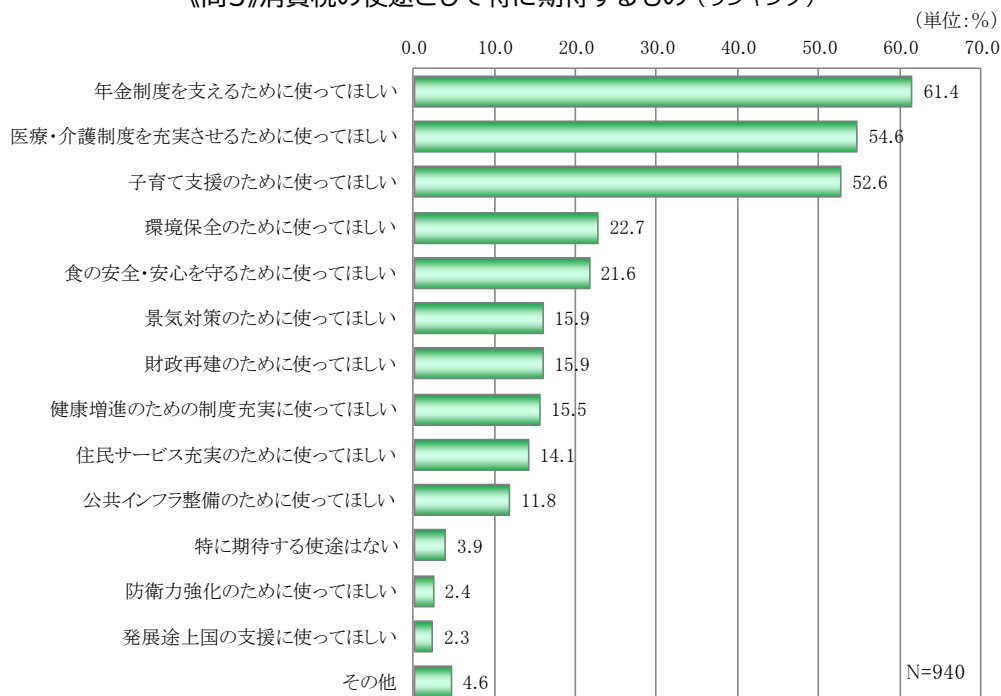


### 3. 消費税の使途として期待するもの

消費税の使途に社会保障制度の充実を望む声が過半数。  
30代子育て世帯の8割が「子育て支援」を期待

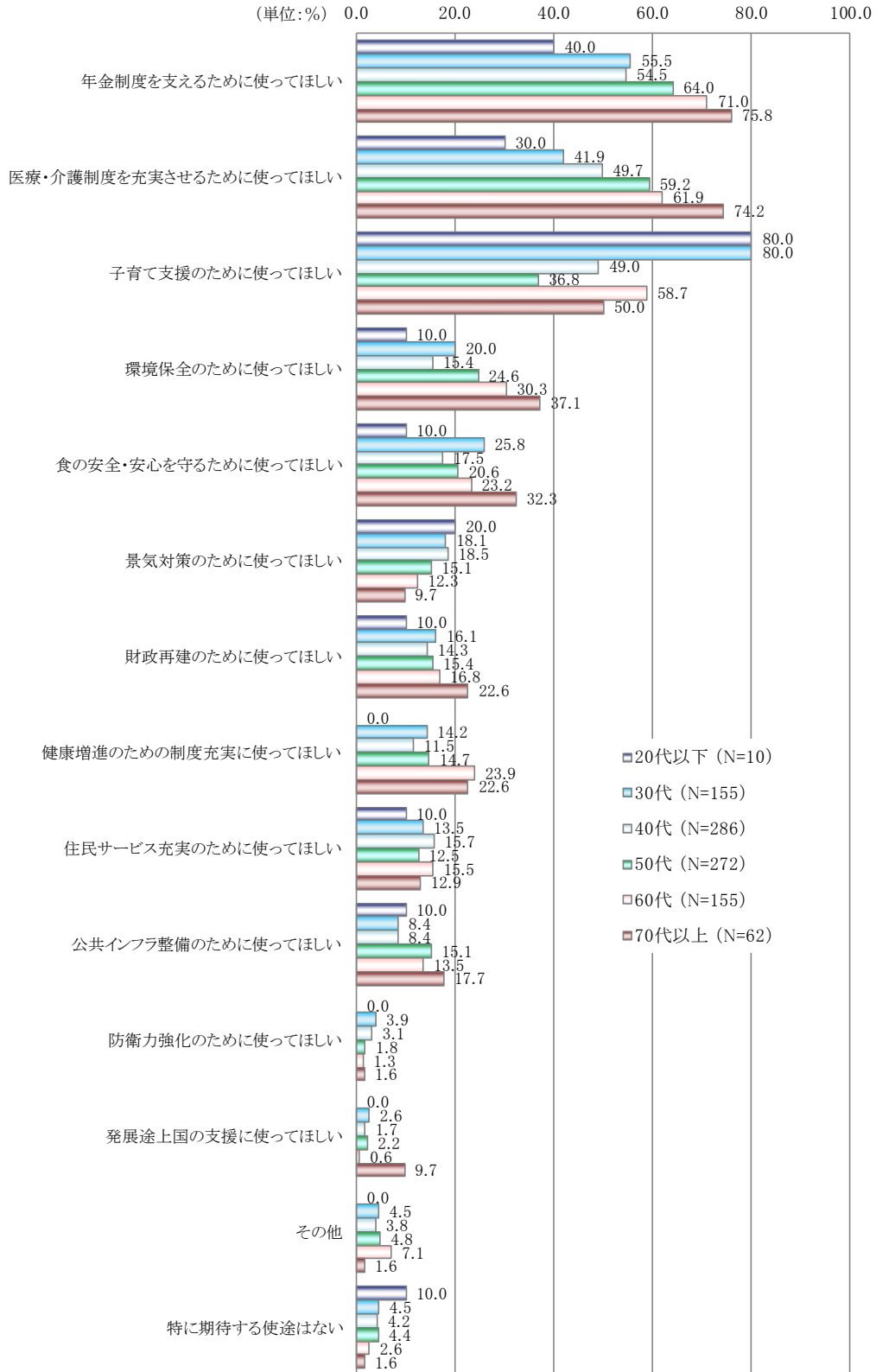
政府の方針や消費税に対する賛否は別にして、消費税の使途として特に期待するものを聞いたところ、「年金制度を支えるために使ってほしい」が最多となり、次いで「医療・介護制度を充実させるために使ってほしい」「子育て支援のために使ってほしい」が多く、社会保障制度への使途を期待する回答が目立ちました。モニターは生協組合員ということもあり、次いで、「環境保全のために使ってほしい」と「食の安全・安心を守るために使ってほしい」が多くなっています。「景気対策のために使ってほしい」や「財政再建のために使ってほしい」という回答も一定割合を占めています。

《問5》消費税の使途として特に期待するもの（ランキング）



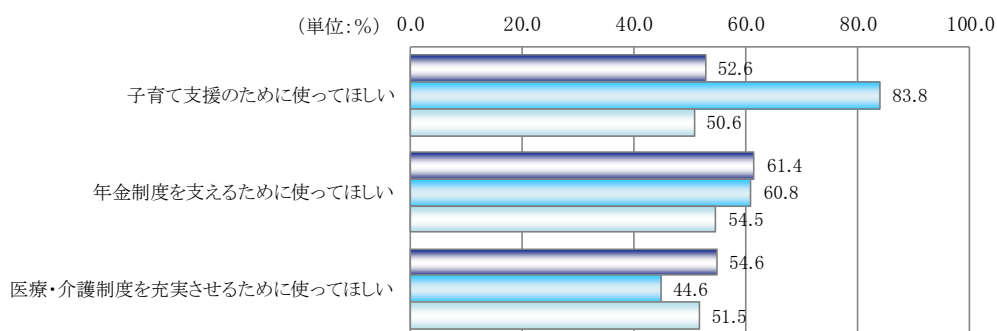
年代別にみると次頁の図に示す通り、社会保障制度の中でも「年金制度」や「医療・介護制度」については、年代が上がるにつれて期待する割合が概ね上がっていきます。「子育て支援」については、年少の子どもをもつ人も多いことが想定される30代以下の期待が高い一方、子育てが一段落した（孫はまだ多くない）人が一定割合を占めることが想定される50代の期待は最も低くなっています。年代が上がるにつれて期待割合が概ね上がる傾向は、「健康増進」「食の安全・安心」「環境保全」「財政再建」などについても見られます。

《問5》消費税の使途として特に期待するもの（年代別）



全体で構成比率の高い30・40代の「夫婦と未婚の子」世帯に特化して集計したところ、30代の「夫婦と未婚の子」世帯では「子育て支援」への期待が8割を超え、きわめて高くなっています。

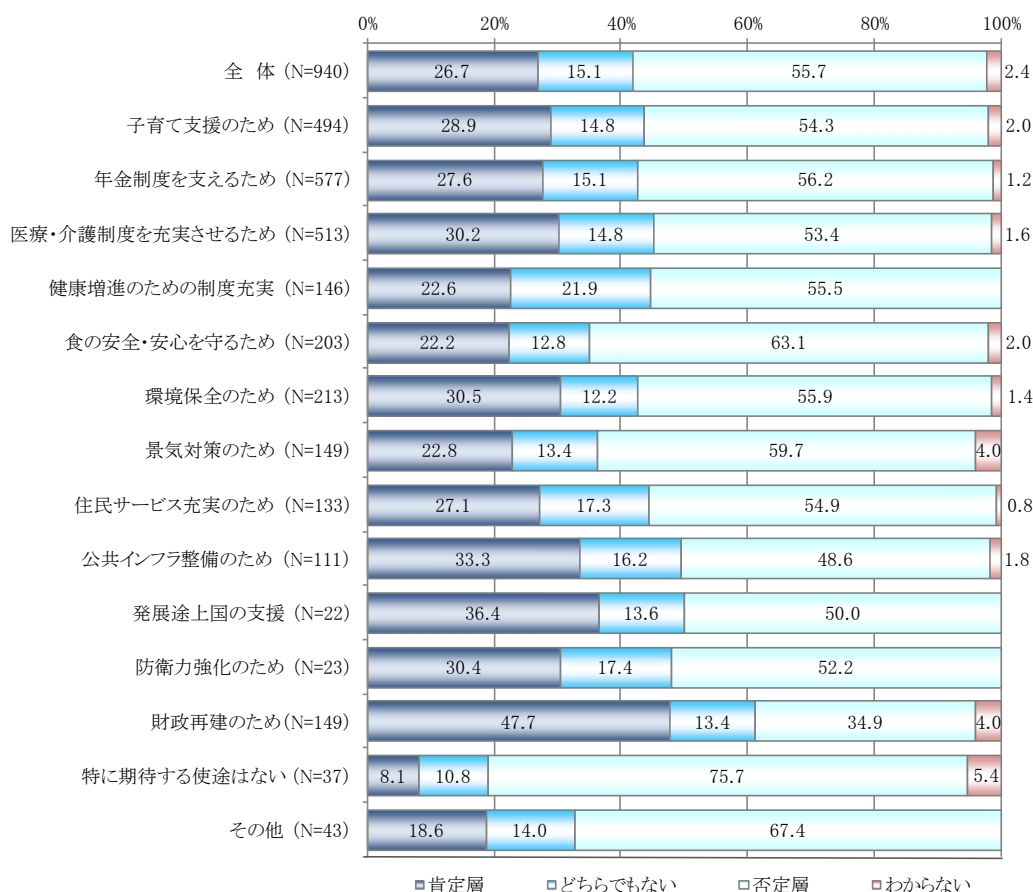
《問5》消費税の使途として期待するもの(30代と40代の夫婦と未婚の子世帯別)



□調査全体 (N=940) □30代の夫婦と未婚の子世帯 (N=130) □40代の夫婦と未婚の子世帯 (N=235)

消費税率の引き上げに対する賛否別にみると、「財政再建のために使ってほしい」は肯定層の割合が多く、否定層の割合が少なくなっています。逆に「特に期待する消費税の使途はない」は否定層の割合が高く、肯定層の割合が少なくなっています。

《問5》消費税の使途として特に期待するもの(今回の消費税増税についての考え別)



※ 消費税率引き上げへの賛否を問う設問で「賛成」または「どちらかといえば賛成」と回答した方々を「肯定層」、「反対」または「どちらかといえば反対」と回答した方々を「否定層」としました。



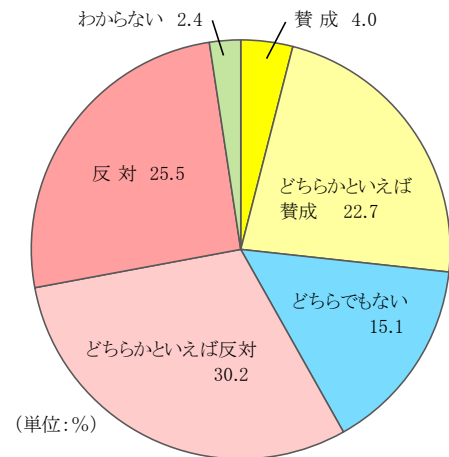
#### 4. 消費税率引き上げ（8%→10%）への賛否

6割弱が反対で賛成は3割弱

「反対」と「どちらかといえば反対」の合計が55.7%、「賛成」と「どちらかといえば賛成」の合計が26.7%となり、反対が賛成を大きく上回りました。

「反対」や「どちらかといえば反対」の理由としては「収入が増えない中での増税により、家計の負担が増える（生活が苦しくなる）」旨の回答が比較的多く、「賛成」や「どちらかといえば賛成」の理由としては「社会保障の財源確保のためにはやむを得ない」旨の回答が比較的多く見られました。

《問1》今回の消費増税についての考え



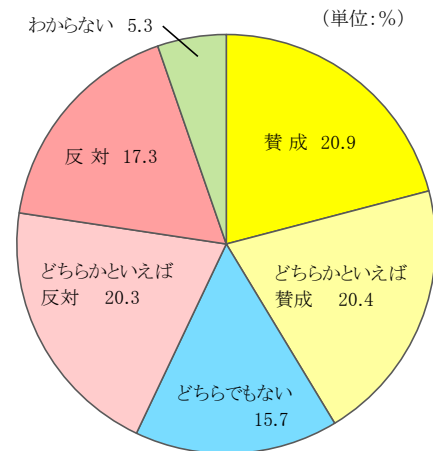
#### 5. 軽減税率制度への賛否

賛否が4割ずつで分かれる。「助かる」一方、「分かりづらい」との声も

「賛成」と「どちらかといえば賛成」の合計が41.3%、「反対」と「どちらかといえば反対」の合計が37.6%となり、賛否が分かれました。

「賛成」「どちらかといえば賛成」の理由としては「飲食料品は生活必需品なので助かる」旨の回答が比較的多く、「反対」「どちらかといえば反対」の理由としては「分かりづらい」「ややこしい」「複雑すぎる」といった回答が比較的多く見られました。

《問2》軽減税率の導入についての考え



#### 6. 消費増税について思っていること

「消費増税について思っていること」について入力をお願いしたところ、「これ以上（消費税率を）上げて欲しくない」「社会保障のため有意義な使い方をして欲しい」「（今回の消費税率の引き上げは）仕方がないが、用途を明確にして欲しい。無駄遣いをしないでほしい」「軽減税率がわかりづらい」旨の回答などをいただきました。